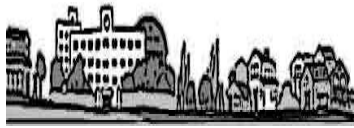




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和2年11月13日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

毎日実践していること

校長 野瀬 浩司

年度当初から，出張や特別な事情がない限り，校長として毎日実践していることが3つあります。

- ①朝，児童玄関の前で子どもたちを迎え，「おはよう」のあいさつをする。
- ②各教室を回り，授業の様子を参観する。
- ③休み時間には，各教室・体育館・グラウンドを回り，遊びの様子を観察する。

今号では，①についてを中心に述べていきます。校長として①を実践しているのは，まず，「教師が率先してあいさつをすることで子どもたちのあいさつもよくしたい」という願いからです。また，顔を合わせた子どもたちの表情や様子から，何か心配事があるのかも…と類推したり，簡単な会話をし，少しでもその子を理解したりする，という目的もあります。

ただ，今年度の特別な状況の影響もあり，ねらい通りとはなっていません。

総務委員会・体育委員会による朝のあいさつ活動が行われている効果もあり，児童玄関前は，全体として元気のよい声が響いています。また，修学旅行先のホテルでは，「太夫浜小の子どもたち（6年生）は，とてもあいさつがよく礼儀正しいですね」と，スタッフがわざわざ担任に言いに来た，ということもありました。

その一方で，先日の学校評議員会では，「地域における子どもたちのあいさつが，もう少し元気だとよい」とのご指摘をいただきました。

「校長が玄関前に立てば，あいさつがよくなる」という単純なことではありませんが，「雨にも風にも，そして，雪にも負けず」立ち続けていきます。6年生や委員会の力も借りながら，よりよい姿を求めて，新たな手立ても探っていきたいと思います。

もう一つの面は，マスク着用のマイナス効果かもしれません。子どもたちの顔がなかなか覚えられず，「昨日のけが大丈夫？」「いつも算数の時間いい発言しているね」「〇〇委員会の仕事がんばっているね」など，その子に応じた声掛けがタイミングよくできていません。

今後は，②や③も含め，毎日実践していることの効果をも高めるためにも，できるだけ多くの子ども顔と名前を一致させ，必要な声掛けをきちんとしていきたいと思います。



委員会児童による朝のあいさつ